

第四班

綱川歩美
鈴木愛
加藤純子

評価基準から「大名評判記」を考える

研究視角について

『土芥寇讎記』を「大名評判記」と提起したのは、金井圓氏であるが〔1〕、「評判記」という分類から考えてみたい。近世文学の世界で「評判記」というとき、出版産業の力を借りた一種の情報誌として、なによりもその当代性が注目される〔2〕。現存する最古の「評判記」は明暦元年の「遊女評判記」『桃源集』といわれている。それは「評判」価値の真贋は別としても、実際の個人にあてえられた紛れもない評価であって、その意味で現実社会における当時の文化価値を表現するものである。つまりは、時代の文化精神の反映を見ることが可能なのである。

この論理を我々が扱う「大名評判記」において考えてみると、少なからず問題を生じてくる。まず、第一に、出版メディアの販路にのぼらないという点である。『土芥寇讎記』をはじめとする「大名評判記」はすべて写本で伝わっており、出版された形跡はない。さらには、秘書として扱われた形跡すら感じられるという。このことから、一般の「評判記」のジャンルが持ちえた、出版による流布と情報性という視角には限定的にならざるを得ない。

第二には、上記のことと関連して、評価が当時の価値を十分に反

映しているのかという問題である。つまり、評者が下す是非かの判断が、はたしてどれほど妥当性をもって評判される側や（いるとすれば）想定された読者に認められていたかということである。この点でも、「評判」の中身がそのまま時代の表現とみることに制限が加えられよう。

しかし、それでも「大名評判記」は特定の個人を名指して掲げており、それぞれの時代に存在した実在の大名であることには変わりがない。彼らは、特定の個人として認識され評者の価値基準によって優劣がつけられているのである。「大名評判記」という書物のなかに、評者側（個人か集団か不明だが）の価値基準と、大名の実像が交錯し、ひとつの「評判」空間が存在することは間違いない。付け加えるならば、受容の範囲は不明であるが、それが書物として世に放たれたということも言える。近世文学のジャンルとしての「評判記」と距離をおきながらも、ことに受容的側面を考えるにあたってはモデルとして念頭に置く必要がある。

近世一般の「評判記」と単純に比較できない理由は、やはり「大名評判記」が多くの謎を抱えている点にある。秘書的な匂いというものもあるが、作者も評文を備えた形での完全な成立も不明であるということである。これは書物としての決定的な要件を書いている。そうした中、謎めいた書物が我々に提示するヒントはやはり、その評文であろう。

評文は、普通に考えれば、評者の価値観に基づいて作られているはずである。そして先述のように、評価する側とされる側という関係のもとに構成され、意味をなしていた。ならば、評文がなにを評価し、そこにどのような含意があるのかという点にまず着目すべきであろう。評価の基準、こめられた意思を浮かび上がらせることで、大名に向けられた視角、その受け止められ方など考察の範囲を広げることが出来る。このような目論見から、「大名評判記」の評価基準へ注視したい。

今回の作業について

さて一昨年の共同研究を経て、我々は新たな「大名評判記」を獲得した。かつて金井氏が指摘した『武家諫懲記』の他に、『諫懲記後正』と『武家勸忍記』である。これら新史料の発見は、影響関係はおくとしても、『土芥寇讎記』が単独で存在したのではなく、同類の書物が点在していたことを示している。

それらの年代を並べていくと、『諫懲記後正』が最も遅く元禄一四年、『土芥寇讎記』が元禄三年位、『武家諫懲記』が延宝三年、そして『武家勸忍記』がそれ以前ということになる。『土芥寇讎記』を間に挟む形で複数の「大名評判記」が成立していることが分かる。『土芥寇讎記』という最終課題に対して、周辺史料も含めて扱う必要がある。

そこで今年度の課題は、新たな「大名評判記」の評価基準を詳細に検討することで、『土芥寇讎記』のデータの比較材料を作成することを第一に取り上げた。まず、『諫懲記後正』の評文を中心に頻繁に使用されている語句を拾い、前後の文章を抜き出した。「主将ノ法」をはじめとして九つの語句がどのような意味で使用されているか、またそれぞれの語句は相互にどのように関連づけられているかをみるためである。なお、担当箇所は、第一巻から第十二巻が綱川、第十三巻から第十八巻が加藤、第十九巻から第三十巻が鈴木である。

そして、最も遅い時期の『諫懲記後正』の評価基準を手がかりに、先行する「大名評判記」や武家家訓などの別の史料との比較検討をそれぞれが行った。ひとつは、ほぼ同じタイトルを持つ『武家諫懲記』と『諫懲記後正』との比較（鈴木）である。また、最も早いと思われる『武家勸忍記』の時代確定と、評文の内容の考察をおこなった（綱川）。さらに、武家家訓という別種の史料との比較検討である（加藤）。いずれも評価基準の内容という点を前提にしている。鈴木は時代を異にする基準を考察することで、「大名評判記」に展開される空間の変遷を考える試みをおこなった。また綱川は、一連の「大

名評判記」の基点を念頭に、時代性との関わりを考察した。加藤は、評価される大名側から限定的ではあるが、同時代の大名規範との比較を試みた。

今回の共同研究では、島のように点在する複数の「大名評判記」を評価基準によって比較・考察したものである。依然、試みの状態ではあるが、最終的な目的は『土芥寇讎記』につながるものであると考えている。

（文責・綱川歩美）

【注】

- (1) 『土芥寇讎記』新人物往来社、一九六七年、解説。
- (2) 中野三敏『江戸名物評判記』岩波書店、一九九三年。

NO	巻号	大名名	1 主稱ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智	
1	1巻	尾張中納言源言通		文武 (成長に及ん)文武両道ヲ學ビ			生得 心意発明ニシテ利根	行跡 行跡正シク所行セリハ必又後世ニ及ビ良将ノ譽				
2	1巻	祖父光友 父綱龍 紀伊中納言綱教		文武ノ學ヒキトイヘモ文武ノ學ヒ給ハストイエトモ 文武ヲ學ビ給ハス			天性淳直 生得小氣 和順ニシテ政道非業ヲウケ 行跡和順ニシテ聊カ非法ヲウ害シ有リ	寛然トシテ威儀備リ 小直行跡ナリ 行跡寛然トシテ柔和ナリ			才智発明ニシテ剛強ノ氣味ナリ	
3	1巻	甲府中納言源綱豊		文武ノ學ヒキヲ不可ト云フ			生得短慮ニシテ剛勇ヲ好ミ給フハ文理ニ不通故也 心意所行不直ニシテ柔弱成レ何ノ益カ有ツ *	行跡悪義ナク政道直シ * *				
4	1巻	父綱重 水戸宰相綱條		文武ノ心掛少々アリト成ハ無ニシカシ			自然ト権威備リ剛勇有テ物毎好悪ノ意地ナク 利根発明通タルハ却テ身ノ害トナレリ	行跡悠然トシテ聰明睿智ノ御器量ナリ 悪義ナク政道直ク國家穩順ニシテ和行セラル			賢仁勇ノ三種ニ徳兼家民ヲ施シ哀憐セラル事比類ナシ	才智発明ニシテ其身正シク道ヲ以テ政道ナリ
5	1巻	加賀宰相言原綱紀		文武ノ心掛少々アリト成ハ無ニシカシ			生得短慮ニシテ剛勇ヲ好ミ給フハ文理ニ不通故也 心意所行不直ニシテ柔弱成レ何ノ益カ有ツ *	行跡悠然トシテ聰明睿智ノ御器量ナリ 悪義ナク政道直ク國家穩順ニシテ和行セラル			賢仁勇ノ三種ニ徳兼家民ヲ施シ哀憐セラル事比類ナシ	才智発明ニシテ其身正シク道ヲ以テ政道ナリ
6	2巻	松平薩摩守源綱貴		文武ノ心掛少々アリト成ハ無ニシカシ			生得短慮ニシテ剛勇ヲ好ミ給フハ文理ニ不通故也 心意所行不直ニシテ柔弱成レ何ノ益カ有ツ *	行跡悠然トシテ聰明睿智ノ御器量ナリ 悪義ナク政道直ク國家穩順ニシテ和行セラル			賢仁勇ノ三種ニ徳兼家民ヲ施シ哀憐セラル事比類ナシ	才智発明ニシテ其身正シク道ヲ以テ政道ナリ
7	2巻	松平陸奥守藤原綱村		文武ノ心掛少々アリト成ハ無ニシカシ			生得短慮ニシテ剛勇ヲ好ミ給フハ文理ニ不通故也 心意所行不直ニシテ柔弱成レ何ノ益カ有ツ *	行跡悠然トシテ聰明睿智ノ御器量ナリ 悪義ナク政道直ク國家穩順ニシテ和行セラル			賢仁勇ノ三種ニ徳兼家民ヲ施シ哀憐セラル事比類ナシ	才智発明ニシテ其身正シク道ヲ以テ政道ナリ
8	2巻	細川越中守源綱利		文武ノ心掛少々アリト成ハ無ニシカシ			生得短慮ニシテ剛勇ヲ好ミ給フハ文理ニ不通故也 心意所行不直ニシテ柔弱成レ何ノ益カ有ツ *	行跡悠然トシテ聰明睿智ノ御器量ナリ 悪義ナク政道直ク國家穩順ニシテ和行セラル			賢仁勇ノ三種ニ徳兼家民ヲ施シ哀憐セラル事比類ナシ	才智発明ニシテ其身正シク道ヲ以テ政道ナリ

NO	番号	大名名	1 主稱ノ法	2 文武	3 文	4 兵	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
10	2巻	松平肥前守源綱政	國家ヲ治ルハ文武ノ二通學ヒナクテハ政法寛東ナシト云ヘリ	文武ヲ心掛			生得發明ニシテ孝敬ヲ専ラニシテ家國ノ政道順路ナリ	行跡正シク家民ヲ憐ム事疎カチラス、忠義ヲ旨トシテ公勤ヲ不怠	所行聊カ不義ナク		
11	2巻	松平安芸守綱長	武法ヲ好ミ而モ心意淳直ニシテ國家ノ政道正シク其理力ニ不惑不奢不貪仁義ヲ齋ヘ匹夫トシテ心身慎ミ行跡正シキ事主將ノ本意ナリ	文武両道ハ軍ノ商輪亦ハ鳥ノ双羽ノ如ク成ハル一方ニ交リ心ニ不任シテ其理不能			幼年ヨリ發明ニシテ其精鋭異常ナリ	行跡正シク國家安泰ニ政道ヲ執行ハルヘニ依テ*	* 心意所行ヲ記又ニ凡人主タルノ様、心意明ラカニ道ヲ正シ、其理ヲ密ニ流水ノ少モ不流カ加ク心得可有		
12	3巻	松平大膳大夫大江吉広	天下ノ御作法如出國朝ヲ治メ保シ人御政道ヲ不守テ、已ニ其身ニ短行ル所ノ大様何ノ故ノ	文道武道ノ學ヒ有ト云ニハ非ヌ			生得淳然トシテ非義ナク、家國ノ政法宜ク、物事大様ニテ家民ヲ哀憐アリ		* 所行宜シトナリ		
13	3巻	松平信濃守藤原綱茂		文道武道ニ志シ			生得悠然トシテ其精静カナリ	唯一分ノ行跡氣度有トモ家國ノ妨ケニ不成時ハ、是書レノ得トモ云ツヘシ	* 所行ニ付テ實事ナク去共不不貪トナリ		才智發明ニ非ヌ
14	3巻	松平伊予守源綱政		文武ノハ學ハサレ共**			私欲ナク不貪好義ノ道ナリ。總理ヲ正シ淳直ナリ	** 行跡大様ニ諸事大度ニシテ兼テ礼事ナシ世間ノ動メ不怠法ヲ守リ、或ハ歌ノ道ヲ嗜ミ行跡静ニ禮節ヲ旨トセラル			
15	3巻	松平右衛門督源吉明		文武ヲ不學			心意發明ニシテ家民ニ愛重アリ。(伝)	若年ナレハ行跡善惡ノ差別不知			
		應者綱清		文武ヲ不學 柔弱ナル故物事ノ理ニ不叶シトナシ、畢竟文武二道ニ疎カ故ナリ			心意淳直ナレハ指子好義ナルニ非ヌ				

NO	番号	大名名	1 主稱ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 備	9 才智
		祖父光仲		文武ノ学ヒナク		和勇ニシテ義理ヲ正シ*	生得	行跡	行跡	行跡	
16	3巻	井伊兵助藤原直通					生得利根発明*	行跡正シク尤礼義ヲ厚ク愛民ニ愛重有テ国家ノ政 道斷カ不義ヲク慈惠ヲ専ラニシテ家士ノ仕置理ヲ究 メ所行善ナリ	*其身利根発明ナリトモ 行跡不義ノ所行ニ於テ ハ八国家ノ愛トナレ	武勇ノ旨トシ忠貞ヲ勵シ 禮儀備世間ノ標榜ヲ儼ニ 多ク勤候*****	**才智発明ナリ
		父直置		文武ヲ少々心懸			生得寛悠ニシテ**				
		直置妻父		文武ヲ好ミ而モ*****			生得淳直ニシテ義理ニ通 達セル故自然ト所行善ナ リシ*****		*****	*****	
17	4巻	藤堂和衷守藤原高久					悠然トシテ*	*行跡正シク**		**其威備リ	
		祖父高虎									
18	4巻	松平兵部太輔源昌明					武勇剛強ニ募リ世ニ武功 ヲ顯ス	行跡善ナル			
		兄光通		文武ヲ好ミ文武ヲ學ビ其 理ニ達セルルハ故ナラシ 文武ノ学ヒナク			心意淳直ニシテ	行跡善ナル	所行重シク公勤ヲ不怠	仁義発明ニシテ	
19	4巻	松平肥後守源正信						家民ノ困窮ヲ察シ是ヲ救ヒ忠節ヲ旨トシ勤候。事ニ 行跡道ニ叶ヒ国家ノ仕置等正順		智勇有テ非義ヲ不行	
		父正之									
		兄正経									
		寛然トシテ行跡不義ナ ク威徳不絶トナレハ君 子ノ法ニ叶リ。									
20	4巻	松平土佐守藤原豊房									
		養父豊昌									
		凡国主トシテ文通ノ志シ ナキハ不臣ノ一也									
		仁愛ヲ専ニシ武歌ヲ好 ムルハ事尤可ナリ									
		文通ヲ不學武勇ヲ好ミ									
21	4巻	松平淡路守源綱矩									
		養父綱通									
		凡国主領主ナルハ学ヲヘ キハ文通ナリ。武法ヲ好 ム事家業ナレハ可ナリ。									
		父光隆									
		仁政ノ標									
		文武ヲ學ハルシ沙汰ナク									
		生得淳直ナリ									
		行跡寛大トシテ和順ナリ									
		政道重シク家士長閑ヲ 憐ニ所行不義ナラズ成 ハ難スルニ不致									
		天性善徳ヲ備ヘ仁義ヲ厚 ク忠信ヲ以テ旨トシ国家ノ 法令重クシ其仕置キヒシ シト書久。後二宮様有テ記 セリ。彼皇ヲ奉ルル則シハ 畢竟此等ノ將智勇ノ良器 共云フ。									

NO	番号	大人名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
22	4巻	佐竹右京大夫源義規	凡國郡ヲ治ル人ノ心得先其心ヲ正シ其意ヲ誠ニシテ行跡ヲ權ニスシテハ仕置立ヘカラス。				生得 生得徳ニ通達シテ執行ハルハ故家民自ラ無為ナリ	行跡			
23	4巻	有馬中務太輔源賴元	行跡正シク仁義ヲ旨トシ好意ノ氣味ヲ能道ヲ守リ、徳具器ニ當リ天性主得ノ法ニ叶フ								才智發明ニシテ*
24	5巻	松平出羽守源經近		* 文武ヲ學ビテ子理ヲ弁ヘ宜武法ヲ嗜スルハ故力							不忿不奢、家民ヲ撫育シ義ヲ正シテハ事、是智仁勇共ニ備ル民得ナルヘシ
25	5巻	上松平正大弼藤原綱憲	*	文武ヲ學ビ		武法ヲ好ミ	生得 仁義ヲ勤修シテ心志意氣ヲ行跡宣シテハ是人主ノ徳業ヲ行ノ良符アリ*				*
26	5巻	本多中務大輔藤原政武	今以テ不道國家ノ仕置總靜ニシテ哀憐セラルトナレハ君子ノ道ニ叶ヘシ				** 發明ニシテ其相形和順ニ見ヘ心意淨直ナリ				
27	5巻	小笠原右近將監源忠雄	主人トシテ文武ヲ學ビ武法ヲ好ミ仁礼厚ク生得寛直ニシテ弓馬ヲ勤シ家長ヲ憐ミ國家ノ任置非難ナシトナレハ是將威備ルノ所本意ナルヘシ。*								
28	5巻	松平大和守源基知	國郡ヲ治ル人ハ其心身ヲ正シ、次ニ國家ヲ治ムル則シテハ齋シカラスト云フ事ナシ	文武共ニ學ハレ			生得 實然トシテ生得敬實ナルニヤ、愚昧ナリト云ヘ共美ニ愚昧ニアラス、和直ニシテ礼義ヲ專トシ折詰タル生付テハ愚鈍ニモミユルナラン。然シ徳利根ナルヨリ結句増ナラシカ				勇知發明ニ
29	5巻	松平越前守源定直		心行正シク文武ノ志アリ							
30	5巻	神原式部太輔源勝兼	父定時 祖父定房				少々不義ニテ行跡サシミ正シキニハテラサリシ				仁義正シク知慮アル将ナ
		曾祖父忠次	人主トシテ文武ニ心懸ケル事、是主得ナルノ本然也。且心意行跡正シク家國ノ政道臣等ニ教シ執行ハルルトナレハ事物主得ノ法ニ叶ヘリ	文武ノ道ニ連シ			生得和順ニシテ	行跡正シク仁義ヲ專ラシテ公罰ヲ不怠、家士民間ヲ撫養ム事疎カラス			

NO	巻号	大名名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智	
31	6巻	酒井左衛門尉源忠真			文 文道ヲ不学武法ヲ少々志入事、是文道ヲ不学ハ不 是ノ第一ナリ。武法ハ元来家業当然ナレハ尤可ナリ		生得 * 生得淳直ナレハ別而難 スヘキ所行ナシ *	行跡 毛頭非義ナク行跡穏和ニ シテ *	所行 * * /人トシテ善悪ヲ不 知ト云フ事ナシ。是本心 ニ誠有故ナリ。然ルニ善 惡ニ長シ、我外意ニ誇リ テハ柔心ヲ乱シ、所行直 シカラサルモノナリ			
32	6巻	酒井雅楽頭源忠孝		文武 文武ニツシ心ヲ尽サルハ 事ニ父忠清ニハ勝シタ リ。					(修身・忠節・威儀・操 節) 何レモ所行難スル 事ナシ			
33	6巻	酒井朝貞佐藤忠固	父忠清 (輔) 天下ノ驍将人、大 方ニテハ難叶、最モ文道 武法ヲ学ビ心ニ智勇ヲ 含ミ行跡正シク礼儀忠 節ノ志ヲ有シトナレハ 其理ヲ弁ヘラルハ故、 審リ念ルル念ナカリト見 ヘタリ	文武 文武而道ヲ学ビ智勇有テ 行跡正シク不意不奮礼節 厚シ *	文ハ仁義礼智信ノ五ツナ リ 主得ハ到文理志シ亦武 備ヲモ不意武運々二人ヲ 兼学セラルヲ社長得共云 ツヘシ	武毛赤此之以五事道天 地得法ヲ悉ル	生得 寛剛ト有ハ是モ得タ ル人ト云ナリ	行跡 不義ナク家士民間ヲ愛憐セラシ シ				
34	6巻	松平讃岐守源頼常	主得タル人文武二條キ 剛シハ国家ノ故事不足 アルヘキカ				天性 発明ニシテ心意正シ ク *	* 行跡寛大ト大徳ナレハ 勲章セハシキニ非ス。得 意續リタル				
35	6巻	松平越中守源定重		文武 文武而道ヲ兼用ニサレ則 シハ心又所行ニ通不致可 有。是一偏ノ意氣ヲ達ス ルニ依テナリ	和歌ヲ吟スル事、義家公家 方ノ業ニシテ武士ハサマミ 不好共 *	武勇ヲ好ミ弓馬ヲ難ト事 是武門ノ要領タルハ最モ 可ナリ	和氣 発明ニシテ心意正シ ク *	* 不義ノ行跡或非道ノ沙汰ヲ国家ノ政法責備テ ラハ主得ノ道ニ叶ヘルナリ				
36	6巻	立花飛騨守藤原宗尚	文武ノ学ビ心懸有テ子 レハ是主得ノ法ニ叶ヘ リ				生得 発明ニシテ *	行跡 百シク公勤ヲ旨トシ家士民間ニ愛憐セテ可ク政 道臣等二任セ所行不義ナキトナレハ難スル事ナシ			得ノ聲 得ヲ聲シテ聲ニ勇 ヲ兼備タルヲ以テ其役ヲ 与フヘシ。法ハ軍法曲制 ヲ云フ。	
37	6巻	大久保豊成守藤原忠増	文武ノ二道ハ不忌トイ ヘ共行跡非義ナク家國 ノ政道直ク仁愛ヲ施サ ル事主得ノ法ニ叶フ				* 生得 淳直トナレハ難ス ルニ事有テシ	行跡 善カニシテ身ニ實ミテ。殊ニ仁愛ヲ志シ家 士民間難カニシ *			此等ノ得ヲ忠信孝徳ノ善 レハ有共云ツヘシ	
38	7巻	松平大藏太輔音原利久	主得トシテハ文武ヲ学 ビ国家ヲ正シ行跡ヲ專 ラシ禮ニ善道ニ到ル事ヲ 然リ	文武 文武而道ヲ志スヘトモ 其理ヲ究ムルニ非ス			* 生得 淳直タリ。尤陸奥 孤曲ヲ去リ且仁礼ヲ旨ト シ身ニ積ミ多ク、政道順 ナル故天下ノ執事トナツ ル	行跡 正シテ *	所行 宜シク自然ニ善レテ 得ラルヘモノ也			
39	7巻	稲葉丹後守越智正通	(評) 文武神道ヲ学ヘ ルハ事人主トシテハ志 サスヘキ法也	主得ノ文武ヲ学フ事尤モ 善也			生得 寛剛トシテ仁礼正シ ク不意不奮国家ノ政道順 路ニシテ守護セラレ *	* 不義ノ行跡ヲ思慮有テ勤候旨トセラレハトナレ ハ所行難スヘキ様ナシ				
40	7巻	本多能登守藤原忠常			守得トシテ文学ヲ不好事 不足タリ	去共武運ニ運シ行跡不 義ナク禮節ニシテ国家ノ 仕置正業ニシテ世間ノ勲ヲ 不意トナレハ家業忠孝共 備レル人カ *						

NO	巻号	大名名	1 主簿ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
41	7巻	松平備前守源長知			人主ナル人ノ文ヲ不知武道ニ通セズシテ国部ノ故事ナルヘカラス		去シ共生得淳然トシテ心意ヲアルトアルハ難スヘキニ非ス				
		養父光長									
		祖父一伯									
		国郡ヲ失ヒ玉フ事文武而道ニクラク愚昧タル故									
42	7巻	南部信濃守源行信			文武ノ学ニキト雖モ*		生得直ニシテ修養ノ意地ナク、家士民間ヲ憐ニ物事總和ニシテ仁義ヲ専ラニセラシ、家國ノ政道不義ナク所行宜シ**				
43	7巻	阿部豊後守源正武					*				
		主簿トシテ文武ヲ學仁義正シク、不義政道ヲ専ラニ家民ニ憐ミテ加ヘ生得淳然トシテ才智發明トシテハ自ラ將敵備レリ*									
		父正能			文武ヲ不學ト雖モ*						
44	7巻	戸田采女正藤原氏定									
45	7巻	丹羽五郎三郎藤原尹重			文武ニ雖モ則シテハ諸事ニ叶ヒ難シ*						
46	8巻	阿部対馬守源正盛									
		父正次									
47	8巻	眞田伊豆守滋野信房			文武ノ学ニキク*						
		人主トシテハ文道ヲ專ラニシ武道兼備シ能國事ヲ保護セラルヘリ以テ事物主簿ノ法ニ叶ヒリト云									
48	8巻	堀田伊豆守紀正虎									
		父正俊			文武ヲ學ヒ						
		心意シクテ手前奮シテ欲セラルヘハ主簿ノ法ニ非ス									
49	8巻	伊達越前守藤原宗昭			文武ヲ不學事雖モハ羽翼ク如ク一方及テ難叶* / 文武ノ道各々ハハ心慮空虛ニシテ善行ナシ						
		主簿トシテ何程ノ大カ剛勇ナレハハトテ万幸ニ勝ヘキニ非ス、然レハ一國ノ城ノ主トナリ人ノ上ニ坐スルハ唯大方ニテハ政道叶ヒカガシ									
		文武ヲ學ヒ									
		文武ヲ試ミ家士ヲ勵シ									
		剛勇ニシテ大カナリト云ヘハ應ナキニモアラス又可ナリトセズ									
		* 去共生得淳直ニシテ、行跡不義ナク所行宜シ									
		人ヨリ心意疎クシ、外風發明カマシク行動アル共生得愚昧ナル則シテハ争カ發明ナルヘシ									
		* 生得淳然トシテ** 外見發明トシテ* 意慮虚ニシテ*									
		** 不行跡ナリシ									
		** 行跡正シク和順ヲ言トシ家士民間ヲ憐ム事疎カナラズ。礼法ヲ守リ忠孝ヲ重シ家國ノ仕置穩カニ勤儉ヲ勵シ勇威備ル... 誠ニ君子ノ道ニ叶ヘリ									
		物毎古風ヲ旨トシ發明ナラズト是ヘテ内ニ驚懼アル事、是天然ノ生得ナレハ也									
		才智發明ニシテ忠慮ヲ疎カニセテ礼法ヲ正シ義理ヲ旨トシ家國ノ政道順路ニシテ、不惑和ナリ									
		以智養勇、勇ハ武ノ威儀ナリ。柔ハ剛ニ勝テ、故ニ柔剛智勇ト立テ亦智仁勇ノ三徳ヲ兼備ルカ故ニ柔剛強弱ノ四ツヲ兼備ヘテソレソレニ用ユルヲ以テ良將トスル									

NO	巻号	大名名	1 主簿ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智	
		藤父光祿宗利	武ノ道ヲ敬セラルハ故 二心ノ難リ者子行跡ニ 不兼ナシ。去共文理ニ 兼キニ依テ智仁ノ爲メ ヲサレハ眞実ノ法ニ 叶	文武	文 文通ヲ不學武勇ヲ嗜、香 ノキチシ有ル*	武 武ト云フモ道天地將法ノ 五常ヲ立テ子其性ヲ明ラメ 道ヲ広ク行仁者得私 ヲ旨トシ敬重深一本ツキ 心ヲ正シ身ヲ修ルノ道也	生得 生得 生得穩厚ニシテ法義ヲ不 背家民ノ仕置正順ナリ	行跡 * 去共行跡不兼ナリ簡潔有行簡便ノ出合モ不兼ナ リ	所行 所行不兼トイハ共(色欲 に漏れる)			
30	8巻	松平実業守源吉保	人主ノ法ハ文武二道ニ 違フ行跡正シク所行云 ラレヲ以テ主簿ノ法ト シヤ	人三ヨリ文道ヲ學ブト云テ 眞実ノ理ニ不至只文字ノ 句語記誦詞章記之目此 道ノミカヘリ家業破クシ 子武道ノ沙汰ナク外見ニ 顯ハルハ縁モ有、或文武 二道ニ至違フ是ヲ内舎ミ 外ニ不顯モナリ								
51	8巻	松平下総守源忠雅	文武ノ學キハ不足ナ リ共未タ若輩ナレハ 後々兼學ニ於テ行跡正 シクニ成ラズ所行直 シキ則シハ良得ノ善シ モ可有ナリ*	文武ノ道ヲ不學			生得 生得穩厚ニシテ法義ヲ不 背家民ノ仕置正順ナリ	行跡 行跡和平ヲ旨トシ聊カ非道ヲ現セズ				
52	8巻	豊平能本親平昌春 亡父昌章		文武ノ學ヒナク			生得 生得發明ニシテ					
		祖父忠昌		文武ヲ不學トイハ共			天性柔和ニシテ不忿 闘ハ和力通テ誓トナル 是婦人仁也					
		昌能			行跡 行跡先無文武只心ノ勇 力運測ノ機ナク		生得 生得淳厚ニシテ心ニ 少々短慮ノ氣味アリト 記ス事サノミ應兼ナシ	行跡 行跡ハ強ニ過テ子敵トナル 血氣ノ勇ニテ主簿ノ本 ナラス				
53	8巻	土屋相模守源政直					生得 生得淳厚ニシテ心ニ 少々短慮ニシテ愈リ有 ト也。去共後密ニ非ズ。 心兼實情タル故也					
		父教直		文武而道ヲ不學			生得 生得淳厚ニシテ心ニ 少々短慮ニシテ愈リ有 ト也。去共後密ニ非ズ。 心兼實情タル故也					
54	8巻	松平飛騨守源利重					生得 生得淳厚ニシテ心ニ 少々短慮ニシテ愈リ有 ト也。去共後密ニ非ズ。 心兼實情タル故也					
		父利明		文武而道ヲ學ヒ義理ヲ專 ラニシテ*			生得 生得淳厚ニシテ心ニ 少々短慮ニシテ愈リ有 ト也。去共後密ニ非ズ。 心兼實情タル故也					
55	9巻	戸田能登守藤原忠真		文武ヲ學ヒ*	文道ヲ學ヒ*		生得 生得淳厚ニシテ心ニ 少々短慮ニシテ愈リ有 ト也。去共後密ニ非ズ。 心兼實情タル故也					
		亡父忠昌					生得 生得淳厚ニシテ心ニ 少々短慮ニシテ愈リ有 ト也。去共後密ニ非ズ。 心兼實情タル故也					

NO	番号	大名名	1 主将ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
64	10巻	戸澤上総介平政係	主将トシテ万民ノ上ニ座シテ国家ヲ治メ導クヲ以テ不行則シハ訓ニ難シ。然レハ文武ヲ學ビテ聖教聖戒ヲ明カニセテ又シテハ、善行ニ至ル事叶フ不可。	文武ノ學ニチキ事不足ノ第一ト又*	文	文道ヲ不學事不足トス	武法ハ家業當然トス(鉄砲は匹夫のもので不可)	行跡正シク仁礼厚ク道ヲ守リ義ヲ専ラニシ、家士ヲ勵シ、哀憐ヲ加ヘ家國ノ政道順ナリ	* 五井本文ノ如ク家民ニ哀憐ヲ施シ、家國ノ政道順ナリトナレハ別ニ難スルニ據ナシ		
65	10巻	安藤長門守源重興									
66	10巻	松浦香峯守源任	智ハ文ノ本然、勇ハ武ノ成徳ナレハ、凡主將トシテ此兩道ヲ兼備セズハ不可有。是ヲ以テ一方欠テハ叶ヒ難シト云リ								
67	10巻	松平石京大夫源輝貞	文道武道ヲ好ミ行跡勇智衆明ニシテ善器ヲ兼ヘ、諸士ヲ使ヒ、世ニ善シク士ヲ八練ヲ以テ和カレシ事、尤モ本軍ノ加キソハ主將ノ善ニ就ニ善シ有人ナリ								
68	10巻	松平主殿頭源忠雄	文武ノ學ニチキ武法ヲ好ミ、生得淳直ニシテ、義ヲ守リ、仁礼厚ク、行跡衆明ニシテ少々短慮ナリル儀、勇武ヲ勵シ、器備ル。尤モ家民ニ哀憐ヲ被ク喜レノ良將ナリシ								
69	10巻	相馬図書頭平叙胤	名利ノ勇ヲハ誓ヒテス、智仁ノ勇ヲ以テ主將ノ本意トスルナリ	文武ノ沙汰ナキトナレハ難スヘキ事多シ	文道ノ沙汰ナク	文武ヲ好ミ、智勇有テ、生得純明也。	去其、其身衆明ニシテ、行跡不義ナク、公勤ヲ重シシ、世間ノ勤メ専ラニナレハ別ニ難スルニ不及	行跡不義ナシ仁義ヲ専ラニシ國家ノ政道官シク家士ニ據ミ有テ所行順ナリ			
70	10巻	石川主殿頭源憲之									
71	11巻	松平若狭守源直明	主将トシテ文道ノ學ニチキ事ヲ物事ノ不足トイヘトモ								

NO	番号	大人名	1 主簿ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
		父直良					心豊好邪曲アルニハ非 心豊我成人故、世 間ノ難身ノアヲ主願 ス、種々ノ悪行ヲ願セテ ルハトイハントモ	忠義ヲ旨トシ、或參勤交替ノ時ヲモ不違、或日ノ私 節ヲモ能動メ唯一分ノ氣運ニミ是非二不 及			
72	11巻	松平丹波守藤原光永		文武ノ道ヲ不學ト書ス云 井、本文ノ通リ行跡法ニ 叶フ則シハ不學ハ云ヒ 難シ*	道ヲ行ヒ理ニ不違ハ不學 ノ道者トモ云ツヘシ。	殊ニ勇法ヲ旨トシ武業ヲ 馬ヲ嗜ムルハ事家業當 然亦、善也。	*但シ天性仁義相備ハル ルヲ得、最モ善クナリテ 吉ト又				
73	11巻	本多隠岐守藤原			文道ノ字ニキ事可ナリト セズ*		*去共生得淳然トシテ行跡 静カニ仁義ヲ正シ家民ヲ 憐ニ國家ノ政事順ナリ世 間ノ出合不怠所行直シ**				
		養父康将		禮儀ノ心ヨリ重リモ生ス 此種ノ身ニ不學、文武ノ 道運ヲ不弁ハ當以テ子如 此	文道法ヲ不學、心意好 曲アリ。我々各當ニシテ 欲心深ク、家民ヲ責リ奉 ニ屬シ事ヲ願ヒ						
74	11巻	仙石越前守藤原政明			文理ノ字ニキ事不足トスル 也。去共生得發明ニシテ 武法ヲ好ミ執中、弓馬ヲ 嗜ミ、行跡不義ナク、心 意淳ニ國家ノ政道宜シク、 家民ニ哀憐ヲ施シ、忠義 ヲ重シテ勤候専ラ不怠ト ナレハ所行法ニ叶ヒ武備ノ 良將ナルベシ						
75	11巻	小笠原佐渡守源長重							実録ニシテ物事積ニ有テ 政道直シク		
		亡父長頼		文武ヲ學ビ道ヲ行フ事、 生得実直ナル故、自ラ行 ヒ不違ト見ヘタリ	礼ハ道天理ノ道、文武ノ 禮則トシテ礼ハ礼儀ヲ以 テ、規矩トシテ道運ヲ立 テ、者ヘ計ラハ其曲直圓 然タルベシ						
76	11巻	京極權殿源高成					幼少ナルニ依テ行跡心意 ノ差別不致故論スル事ナ シ*	*	家國ノ政道旧臣等能ク 是ヲ執行ノ故家中權カ ナリ		
		亡父高豊		能身ヲ積ミ、道ヲ立法ヲ 行ヒ、幾ヲ守テ以テ主 將ノ本意トスル所ナリ。							
77	11巻	青山下野守藤原忠重		文武ヲ好ミ			生得悠然トシテ行跡和順 ヲ旨トセリ仁政厚ク家民 ニ哀憐ヲ施シ不怠不奢不 貪、家國ノ政道正シク、臣 等ト談セシメ執行ハ礼ハ トナレハ得威備リ、道ニ 叶フ	少シモ重義ナク、公ノ勤 メ大體ニテ、仁政ヲ專ラニ シテ行跡不義ナク、語ク 氣味ナシ			
		主將タル人、曾テ文武 ノ道不學事、是不足ノ 第一ト云ヘリ。然ラハ所 行寛東ナシ。									
78	11巻	脇坂淡路守藤原安照									
		安元		文武ノ學ヒテナク、行跡 悪ナク、所行法ニ當リシ トナシ*							
		安政			武ヲ專ラニシテ、文ヲサ シ不學、*						
		父廣之		文武ノ志シテキト成ハ、 尤善ナリト云ヒ難シ							
79	11巻	久世出雲守藤原重之			文武ヲ學ヒテ諸道ニ達シ、 心意智仁勇ヲ兼テ正順ヲ 旨トセラル故ニ天下ノ執 事ナリ		生得悠然トシテ義ヲ守リ 行跡宜シク、家民ニ哀憐 ヲ施シ仁義ノ道ニ家國ノ 政道不義ナク勤 便不怠シテ家中權和ヲ旨 トセラルハ				
		亡父兼春									
		祖父兼久									
80	12巻	松平和泉守源兼益									
		亡父兼春									
		祖父兼久									

NO	巻号	大名名	1 主将ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智	
81	12巻	太田孫津守源直重	主将トシテ文武ノ学ニキ事不足トス	文武二略ナハ精進ニ非テ、或ハ所行不直ニシテ心意明カクナラズ、故ニ主将ハ文ヲ以テトナシテ武ヲ以テナラズ、且五常ヲ守テ精進ノ人ナリカノ国家始ラズト云フ事ナシ	文武二略ナハ精進ニ非テ、或ハ所行不直ニシテ心意明カクナラズ、故ニ主将ハ文ヲ以テトナシテ武ヲ以テナラズ、且五常ヲ守テ精進ノ人ナリカノ国家始ラズト云フ事ナシ	武道ヲ好ミ士ヲ勵シ、武徳ヲ施ス。	生得 禮義生得實然トシ、義ヲ守リ理ヲ正シ、忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道 禮カニ執行ルトナレハ難クヘキ様ナシ	去其行跡、愚義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠義ノ後ヘハ必ズ未練ノ所行難スル事古今珍シカラズ	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成レハ智仁ノ勇ニ非ト可	才智	
82	12巻	本庄安芸守藤原宗俊	人主ノ心得如此心得行跡ヲ離シ道ヲ以テ家民ヲ導キ兵様ヲ施サシニ不洽ト云事ナシ		文ヲ不知主将ハ必所行寛 東ナシト也 武門ニ生レ文道ヲ不知シテ、勝利ヲ得難シ		生得 淳然トシテ礼正シテ国家ノ政道不蕪ナク、行跡不運動候セラレハト成 ハ、将ノ威備リ					
83	12巻	岡部兼運守藤原宣就	交行隆		文道ヲ好ムサレハ国家ノ政道宜シカラシ	勇武ヲ旨トセザルヘ故ニ行跡難固ニシテ非ニ非ニ故子也 是難也	生得 淳然トシテ礼正シテ国家ノ政道不蕪ナク、行跡不運動候セラレハト成 ハ、将ノ威備リ					
84	12巻	松平内匠頭源昌興	心意所行正シ家民豊饒シテ能政道セラレ国家安泰ニシテ毛頭非義ヲ行ハサルヲ以テ善ノ良將共云シヤ		主将トシテ文道ノ学ニキ事不足ノ第一トス	武道ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ムトナリ、	好悪ノ意地ナク、行跡不蕪ニ非又所行宜シトナシ					
85	12巻	稲葉能登守藤原知通	心算所行正シ家民豊饒シテ能政道セラレ国家安泰ニシテ毛頭非義ヲ行ハサルヲ以テ善ノ良將共云シヤ		主将トシテ文道ノ学ニキ事不足ノ第一トス	武道ヲ嗜ミ馬ヲ好ムルヘ故ニ事家業タルノ間怠ル不可						
86	12巻	浅野士佐守源長澄	文道ヲ好ムニハ剛強ハカリニテハ剛仁難シ。必自己ノ勢ニ勝テ、復念ヲ失フ。主将トシテ和ナクシテハ家民恐怖シ曾テ親シムヘカラス		文道ヲ相供セザルヲ不足トセシ	武道ヲ旨ト嗜ムルヘ故ニ意傲重ニシテ不義ヲ親ヘキ透間ナシト見ヘカラス						
87	12巻	秋田信濃守安部輝季	義父長照	文武ノ学ニキトイヘ共	文武ノ学ニキトイヘ共	文武ノ学ニキトイヘ共	生得 和順ニシテ聖明ナリ	行跡 愚義ナシ、慈愛第一ニシテ物毎禮順ヲ旨トシ儀ニ深ク、所行宜シトナリ				
88	12巻	松平周防守源康賢	文武面道ヲ学ハハ皆ノ本意トナル所、義理ヲ正シ、シカモ行跡淳理ノ事可也。君子ハ義理ヲ以テ本トス。義人ハノ正路ナリ	文武面道ヲ学ヒ善理正シク行跡淳也	文武ヲ少々学ハルヘ心有ト成ハ可也	弓馬ヲ嗜ミ	生得 穩淳	法ヲ守テ道ヲ正シク不怠不侈行跡柔和ニシテ礼深ク、家國ノ政道動カ不蕪ナク、禮順ニシテ家民ニ隣ミテ應ジ所行宜シ				
89	13巻	藤堂備前守藤原高望	主将トシテ文ヲ前ニシ武ヲ後ニスルヲ以テ将ノ本意トス	文武ノ道不學ト云フニハ非ス	文武ヲ不學	武勇ヲ好ミ	生得 悠然	行跡 正シク仁義ヲ守リ	所行 不義ナカラス	将ノ器備 ハレリ		
90	13巻	黒田甲斐守 源長重	前主ノ兄高通	文武ヲ不學	文武ヲ不學	武勇ヲ好ミ	生得 悠然	行跡 正シク仁義ヲ守リ	所行 不義ナカラス	将ノ器備 ハレリ		

NO	番号	大名家	1 主将/法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
91	13巻	亡父 長真 清口信濃守源宣廣	故有子舎兄忠之不和 列ノト聞又与右衛門 佐光之ノ代二到テ順熟 セシム	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
92	13巻	蜂須賀飛騨守源隆重	誠二道有得ト云ヘリ其 比専ラ聖賢ノ人共沙汰 ス	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
93	13巻	水野監物 源忠之	此得仁成子専ラニセテ ル事主将ノ法ニ叶ヘル	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
94	13巻	加藤遠江守 藤原泰経	人主トシテハ只治国安 民ノ道ヲ可学是即文武 二道ヲ云リ	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
95	13巻	有馬左衛門佐藤原永純	主将トシテ文武ノ学ニ キ事一輪一翼ノチキカ 如シ武道ノ家業ヲレハ 可ナリ	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
96	13巻	板倉周防守源重冬	主将トシテ文武ノ学ニ 行跡正ク家民ヲ憐ミ... 是人主ノ法意トス	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
97	13巻	内藤紀伊守 藤原信勝	文武ヲ少々心掛ケル	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
98	13巻	浅野内匠頭 源長矩	惟名七兵衛ヲ召抱工切 又丹ノ旨見セシム... 無念ノ落度御不審ヲ蒙 リ...御使薩御恩地共 ニ召上ラレル...	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
99	14巻	松平紀伊守 源信慈	百年亦天下ノ執權ニモ 補セラルヘキカ	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
100	14巻	伊東大和守 藤原祐實	世ニ善シ有シ得ト聞ク 其豫風ヲ信慈行跡不義 チク善行ヲ導ラセラル 由ナリ	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智

NO	巻号	大名名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 種	9 才智	
101	14巻	鍋島康津守 藤原直之	主得ナル人文武ノ道一 方又子ハ不足ナル所ナ リ況ヤ而様共ニ不学則 シハ軍ノ而論諸馬ノ而業 或ハ主得ノ法ヲ忘却スル ニ等シク	文武両道トモニ不学	少々神道ヲ志シ和歌ヲ嗜ム		生得淳直	行跡不義ナク和順ヲ旨トシ		和順ヲ旨トシ家民ヲ憐ム		
102	14巻	黒田伊勢守 源長清	主得ノ学ヘキハ文武ノ 両道ナリト	文武両道	文武両道	武法ヲ専ラニ嗜ミ	生得容毅ニシテ利根発明 ナリ	行跡正シク	所行直シ	物事精和ニシテ家民ヲ憐 ミ…故道法ニ當リ物事 精和ナリ…大槩ニシテ國 家豊カナリト云ヘリ		
103	14巻	井上大和守 源正道	殊ニ此得田職ニ備ヘラ シ天下ノ故務ヲ計ル事 聖賢ノ教範ヲ自カトス シ尤知慮ヲ廻シ善惡ノ 輕重ヲ正シ物事理弁有 テ…		少々文武ヲ志シ	武法ヲ嗜ミ武芸ヲ好ミ	生得淳然トシテ心意発明 ナリ	行跡悪義ナク	所行直シトナリ	身ヲ慎ミ…家民民間ニ 施シ有テ		
104	14巻	父正任 青山播磨守 藤原幸明	文武ノ道ヲ不学少々武 芸ヲ好ミ馬ヲ教養短處 ニシテ和順ノ氣味ナク 諸徒ヲ仕フニ好惡有テ 今日出頭スル者明日ヲ 怪ム好曲居ノ氣ハ正任健 忘トナシ然レハ正任健 忘ノ弊國アルヤ	本/文武武法ヲ心懸	本/軍學ヲ好ミ	本/弓馬ヲ嗜ミ	本/生得利榮	本/行跡正シク	本/所行正シト具ヘタリ	本/家民民間ヲ勵シ理ヲ 正シ運ヲ明カニ故道セン ト欲セラルル器アリ…家民 少々苦ミ安堵スルコト危 シトナリ		
105	14巻	養祖父幸利	聖人君子ハ事物ノ根元 ヲ明カニ辨ヘ事ノ成就 スルトセザルトノ差別或 國家ノ治乱ヲ計リ且我 身ノ出ルル入ルトノ節ヲ 知ル是天理自然ノ道理 ナリ	文道ヲ少々儒學神教ニ 因ミ或軍書旧記等ヲ好ミ 見ルコト		武法ヲ嗜ミ	生得寛然トシテ	行跡靜カニ		家民民間ヲ勵シ理ヲ正シ 道ヲ明カニ故道セント欲 セラルル器アリ…家民少々 苦ミ安堵スルコト危シトナ リ	才智発明	
106	14巻	松平伊賀守 源忠徳 亡父 忠昭	信政元來武勇ニ專リ剛強ノ 氣味有テ家士擧カラスト云 ヘリ…津輕將監ト云フ出来 家老有テ悉古法ヲ 破テ新法ニ改メ家民ノ困窮 國家ノ憂ヘ傍以テ信政ノ 唱ヘ宣シカラサル所に…	文武ノ道實子不知無シナ カテ	本/文武ヲ不学ニモ非ス	本/武法ヲ好ミ	本/生得発明	行跡直シ	本/所行直シ	本/仁礼厚ク…家士民間 ニ長シク勵シ		
107	14巻	秋元但馬守 藤原高朝			文道ヲ不学ニモ非ス	少々武法ヲ嗜ミ馬ヲ好ム	生得寛和	行跡正ク	所行直シク	機體深ク義ヲ專ラトナシ 家民ヲ愛憐シ民ヲ撫育 ス…善シ有ル良將ナリ	心意正淳	
108	15巻	龜井越前守 源慈親 父 慈政	誠ニ若得子レ共是等ハ 其器壹備ハレト具ヘタリ		文道ヲ学ハルル沙汰ナシ	武法ヲ好ム弓馬ヲ嗜ミ	生得利榮・忠評柔和トハ 云ヒ難シ	行跡正シク	忠義ヲ重クシ勳侯不怠ト 也	家民ノ仕置精カ也	才智発明ニシテ道ヲ專ラ テ不怠家民ヲ撫育シ不負 ナク家民ヲ哀憐シ	才智発明ニシテ道ヲ專ラ テ不怠家民ヲ撫育シ不負 ナク家民ヲ哀憐シ
109	15巻	松平遠江守 源忠喬	國城ノ主トシテ文武ノ学 ヒテキ事不足トセリ	本/文武ノ学ヒナシ		本/武法ヲ志シ弓馬ヲ嗜ミ	本/生得発明	本/行跡正シク	本/所行順也ト云ヘリ			

NO	番号	大名名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 備	9 才智
110	15巻	小笠原信濃守源久國 香兄 匠作		文武ノ志ナキニモ非ス	本ノ文武ヲ不学	本ノ武道ヲ志シ	本ノ生得穏淳	行跡不義ナク	本ノ所行宜シトナリ	本ノ家國ノ政道旧臣等ニ 談シ	本ノ心意發明ナリ 長胤ノ所行不義多シ
111	15巻	金森出雲守 源頼時	此将一國ノ城ヲ治メ文 道ヲ不学ハ不賢ナルヘ シ		文道ヲ不学	武法ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ミ	生得淳然		所行宜シク	仁礼ヲ厚ク忠節ヲ勵メシ 家民ヲ哀憐セテ其ノ國家ノ 政道斷カ不義ナク臣等ト 談シ執行ハハルル	發明ナリ
112	15巻	永井豊熊 大江直平	直平成人ニ及ヒ諸芸諸 学ヲ好メハ善ノ良將 トモ謂レシヤ				本ノ生得發明ニシテ穩順 ニ見ユルトナリ	未タ微若ナル故行跡ノ差 別ナシ		國家ノ政道臣等能ク是ヲ 執行故ニ家中穩カナリト	
113		養祖父市正		文武ノ道ヲ学ヒ			生得發明ニシテ礼儀ヲ旨 トシ	行跡正ク		家民ノ政道順ナリ	
114	15巻	九鬼大和守 藤原隆方	善シノ将ニシテ難スヘ キ事ナシ	文武ニ志アリ			生得發明	行跡正ク好悪ノ念ナシ	家風昔日ニ不替シテツ クヤカナル也	本ノ發遣ノ家民ニ施シ國 家ノ仕置ハ臣等先主ノ穩 順ニ比シテ政道ヲ執行ニ 能主君ヲ補佐ス	
115	15巻	毛利甲斐守 大江綱元	ソノ那領ノ主トシテ文武 ノ学ヒ有レバハ善行ノ 本也。名譽ノ先功子孫 ニ傳リテ今綱元ノ所行 他ノ将ニモ少クハセ タキモノ也	文武武法ヲ学ヒ	軍記記録等ヲ好ミ	馬ヲ好カカルトナリ	生得悠然	行跡豊カニ法ニ叶ヒ	名譽ノ先功子孫ニ傳リテ 今綱元ノ所行他ノ将ニモ 少クハセタキモノ也	仁義ニシテ礼法ヲ守リ家 民ヲ哀憐シ仕置等家臣 任セラルル事可也	發明理弁ノ徳備ハルル故 也
116	15巻	土岐伊豫守 源頼隆	此將武法ヲ好ムルル事 家業タリ去ハニ城ノ主ト シテ文武ヲ不学ハ不足 也		本ノ文武ヲ不学	本ノ武法ヲ好ミ	本ノ生得淳然		不義不忿ト也手前不知 意ナリシト	家民ヲ哀憐シ不義不忿ト 也	才智有テ
117		父頼行 交忠晴	ソノ國家ヲ治メト欲セハ 文武兩道ヲ学フ事肝要 ナリ	文武ヲ学ヒ			生得悠然	行跡法ニ叶ヒ		善シモナク諸モナシ。家民 ノ仕置宜シ。家民豊カニ 治リ聊カ難ナシト見ヘタリ	
118	15巻	松平駿河守 源定頼	誠ニ主得ノ法ニ事毎叶 フ所也	文武ノ学ヒ有シ事尤モ善 也			生得淳直	義ヲ守リ行跡正ク		忠孝ヲ旨トシ。物事慎ミ勤 儉不怠家民構ニ國家ノ仕 置キ穩順也	發明也
119	16巻	祖父 定房入道 父利勝	善有得也	文武兩道ニ達シテ能力其 理ニ通ヌル	文ヲ学ヒ		行跡穩順		忠孝ヲ旨トシ。家民ヲ構 ム事疎カナラス		
119	16巻	祖父 利勝 父利房	曾子主得ノ武器ニアタ ラズ不義多キ人タリシカ ラ				安心行跡世ノ唱ヘ宜シカ ラス		家民ノ惠ミ懐クク		
119	16巻	祖父 利勝 父利房	人倫ノ根元ハ孝教ノ徳 ヲ履クニ即チ忠信ニ至 ル是天然ノ道理也		本ノ文武ヲ不学	本ノ武法ヲ好ミ	生得淳直	行跡靜カニ正ク道ヲ守 ラルヘヨモ若將ニハ珍シハ ト	本ノ國家ノ仕置等臣トシ テ執行最モ宜シト	本ノ孝教ヲ旨トシ家民ヲ 構ニ仁愛ヲシ	
119	16巻	祖父 利勝 父利房	天下ノ執權ヲ司リ國家 ノ安危ヲ沙汰セラシ善 シ有シ得ナリ		文道ヲ嗜ミ		行跡正シク	所行宜シキ	仁礼厚ク忠節ヲ專ラトシ		
119	16巻	祖父 利勝 父利房	世に聽レシキ善シノ將深智明安ニシテ御代々ノ上輩ニ應シ天下ノ執權ヲ司リ								
119	16巻	牧野頼政守 源英成	善將ト云フ難スヘキ事 ナシ。近年御業若役ヲ 兼リ專ラ勤儉タリ	本ノ文武ヲ少ク学ヒ	本ノ藝業ヲ好メリ		本ノ生得柔和	本ノ行跡淳ナリ	本ノ美小人ヲ愛セリ	本ノ家士ヲ構ニ民間ヲ惠ム 善シ有得ナリ	
119	16巻	養父 富成	老年に及ヒテモ子息ナキモ美風ノ愛慕シキカ故ナラシ								

NO	巻号	大名名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
120	16巻	毛利飛騨守 大江元次	主得トテ文武ノ道ヲ不学事第一ノ不足トシテ元次生得身直ニシテ行跡直シトナレハ難ナルニ不及	本/文武ヲ学ハハルニハ非又		本/弓馬ヲ嗜ミ	本/生得淳然	本/行跡不義ナク	本/世間ヲ専ラニシテ所行不義ナク	本/家士民間ヲ憐ミ忠義ヲ重シ	心意慈シ
121	16巻	井伊兵部少輔藤原直房	善悪ノ差別ヲ忍リ有	文武ノ学ヒテナク	枯天ト云ル舟土僧ニ招キ其法ニ因シ只念仏一辺ノ行者ノ如ク...		生得愚昧	行跡豊カ也	本/公勤ヲ不怠世間ノ出合順ナリト	本/家民間ノ仕置臣等是ヲ執行ト也	脆弱ナルカカハ魯鈍ナルニヤ
122	16巻	内藤駿河守 藤原清長		文武ノ学ヒテナク		弓馬ヲ嗜ミ	生得利発	行跡宜シク	所行宜シ	家士民間ニ施シ仁義ヲ旨トシ	才智発明
123	16巻	松平日向守 源重賢	善シテ得ル事是繁短ノ道ニ叶ヘリ最モ善得ナリ	本/文武ヲ少々学ヒ						本/仁義ヲ正シク家民ヲ憐ミ忠孝ヲ勵シ家ノ任置権力ニシテ國家ノ政道順ナリ	
124	16巻	京極甲斐守 源高住	同名丹後守高国父子ノ鏡ヲ懸テハチ善ノ奉行ノ如シ	本/文武ノ学ヒテナク			本/生得寛然トシテ	此得不應ニ舎兄ノ跡式ヲ継テ忍領トナラルル故物事權ニ有ニ依テ行跡ヲ不亂シテ	本/不義ナク所行アリ	本/義理ヲ守リ家民ヲ憐シテラレバ國家ノ政道不義ナク	
125	16巻	朽木伊豫守源種昌	内外ノ徳備ハハリ誠ニ善シノ将タリ	本/文武両道ヲ学ヒ			本/行跡不義ナシ	本/行跡不義ナシ	本/所行不義ナシ	本/家民ノ政道法ニ叶ヒテ手前不如意ノ由置臣等是ヲ執行ト	本/才智利弁
126	16巻	細川采女正 源利昌		本/文武ノ沙汰ナシ		武勇ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ミ相撲ヲ好カレシトナリ	本/生得總然トシテ発明	本/行跡宜シク		家民ヲ憐ミ家國ノ政道仕置臣等是ヲ執行ト	利根発明ナリ
127	16巻	板倉甲斐守 源重長	誠ニ主得ノ法ニ叶フ所也	本/文武ヲ学ヒ	本/文武ヲ不学		生得淳ニシテ	行跡異義ナク		本/礼法ヲ専ラニ仁義ヲ正シ勤儉不怠家民ヲ厚シ家國ノ政道穩順ナリ	
128	17巻	松平左京大夫源頼純	善シノ将タリ	本/文武両道ヲ学ヒ			本/心意発明	行跡淳ニシテ柔和ナリ		万事穩順ニシテ家民ヲ厚シセラレシトナリ	
129	17巻	松平摂津守源義行	善シノ器備ル良將トモ云ツヘシ	文武両道ヲ学ヒ	日記書籍ヲ好ミ給フ	武芸ヲ嗜ミ	天性敏賢	行跡正ク	所行正ク...甚美女子愛セラレトナリ	孝敬ヲ専ラニシテ家士民間ヲ厚シテ	此家ノ風俗大家ノ別ニ故物事大様ニシテ尤家中等大ヤカナリ
130	17巻	堀左京亮 菅原直利	君子ノ道ニ叶ヒ者徳武備ノ勇将ナルヘキナリ	文武ノ道少々志アリ			生得淳然	行跡聊カ不違ト	所行重シカリシト	仁義ヲ守リ忠孝ヲ旨トシ不義不貪家民ヲ憐ミ國家ノ政道順	才智発明
131	17巻	永井伊賀守 大江尚富	最モ主得ノ法ニ叶ヘリ...後年ニ及ビ善得ノ善シナリ	文武ヲ少々心懸			生得淳直	行跡正シ	仕置等穩順にして	仁義ヲ厚ク忠孝ヲ旨トシ勤儉不怠家民ヲ厚シ	心意発明理弁
132	17巻	亡父尚庸	徳操ノ将タル故所司代職ニ補セラレ	文武両道			本/生得寛然トシテ利根	本/行跡異義ナク		本/世間ノ勤不怠家士民間ヲ施シ國家ノ政道宜シトナリ	
132	17巻	細川和泉守 源有孝			本/文武ヲ不学	本/武法ヲ好ミ弓馬ニ心懸	本/生得寛然トシテ利根	本/行跡異義ナク		本/世間ノ勤不怠家士民間ヲ施シ國家ノ政道宜シトナリ	

NO	番号	大名名	1 主稱/法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智	
133	17巻	田村右京大夫坂上建頼	諸事ヲ兼学セラル其理ヲ究ムト欲セザル事主將ノ本意ナラズヤ	文武両道ヲ少々学セ	日記書籍ヲ数寄尤和歌ヲ嗜ミ	軍学ヲ嗜ミ・弓馬ヲ心懸	生得発明	本/行跡正ク	本/所行宜シ	本/慈準専二家士民間ヲ懐ニ・孝敬ヲ守リ仁礼厚ク世間ノ勤不怠		
134	17巻	島津淡路守 源惟久	君子ノ法ニ叶ヒ厚徳備リタル将ナリ	文武ノ道少々	手跡ヲ嗜ミ物事集練ナリシト	本/弓馬ヲ嗜ミ	本/生得悠然	本/行跡淨道	本/所行宜シトナリ	本/家士民間ヲ盛ニ脚力悉義ナク物事集ニ家ノ仕置頼頼ナリト		
135	17巻	養父 式部少将 実父 久英		文武ノ道少々心懸アリ	文道不学	弓馬ヲ好ミ 武道ヲ好ミ	生得穏和	行跡正ク 行跡剛勇ヲ旨トス	所行悪意ナシ 飲酒盛ク	仁義ヲ専ラニシテ 家民ヲ重シ悪義ヲ躰久道アリシト云ヒ云ヒ		
136	17巻	伊達左京亮 藤原宋春	主將タルノ威儀生シナカラニ備ハリノ器ト云ツ見ヘキモノナリ	本/文道ヲ学セ武法ヲ好ミ		武法ヲ嗜ミ	生得寛然	行跡法ニ叶ヒ	本/所行不違	本/礼讓ヲ旨トシ……道ノ正ク家士ヲ勵メ政道順路ナリ	本/心意穏和	
137	17巻	祖父 宗純 養父 宗重	成長ニ及ヒ當シモ可有ナリ 血氣ノ勇ト主將ノ本意ニ非ス	本/物事兼学スヘキ志有テ	文道不学	武法ヲ嗜ミ	心意発明 生得穏和	行跡剛順ニ見エル 家中騒動シテ落ク流人セシム	所行臣等ニ任セラルトナシ 所行善ナク悪意ナシ	家士民間ニ愛機ノ気味アリ 少々家民ノ政道不直ナリシトナリ	心意邪曲ナラン	
138	18巻	松平内藏頭 源頼職	主將トシテ文武ノ学セナキハ大ニ不足ナルヘシ・本文ノ如ク行跡不違則シハ後々當シモ加有				生得頼順		所行不義ナク勤ラ不怠世間ノ勤メ等ニシテ	家民ヲ懐ニ・仕置等ハ本家ヨリ被付所ノ臣等是ヲ沙汰スナシ	大家ノ別ナルニ依テ物事家中トモニ大構ナリト云ヘリ	
139	18巻	祖父 忠國 松平主税守 源頼久	祖父 忠國		文道ノ学セナシ	武法ヲ少々心懸弓馬ヲ好	生得発明	行跡正ク	所行宜シ	家民ヲ懐ニ		
140	18巻	秋月長門守 大藏運政	義順ヲ専ラシテ行跡正		文道ノ学セナシ	本/武法ヲ少々志シ	生得淳直ニシテ剛勇ナリ	一行跡ナル則ハ行跡堂一尚片ナル則ハ行跡堂東ナシ	所行不義ナシ		悪義ナク勇武ヲ旨トシ家國ノ政道順ナリ	悪義ナク物事文様ナリトナレハ
141	18巻	大村印康守 藤原純長	才智発明ナリ去共仁義	文武ノ学セ少々有之	文道ノ学セナシ	本/武法ヲ好ミ	悪義ナク生得和順	本/行跡宜シク	本/所行不義アラズ	本/家民ヲ懐ニ仁礼厚ク好悪ノ意地ナシ		
142	18巻	小出伊勢守 藤原英利	本/善有得ト	本/文武ヲ少々心懸アリ	短氣ナル事生傳ト云ヒナカラ其元不学故ナルヘシ	本/武道ヲ嗜ミ	本/生得悠然	本/行跡柔和ヲ旨トシ	短氣ハ未練ノ相トテ必所行ニ拙ナキ可有	義理正ク家士民間ヲ察ミ勤儉ヲ不怠	本/仁義ヲ正ク家民ヲ懐ニ	

NO	番号	大名名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 子賢
143	18巻	池田内匠 源政燕	道有得ヲリシトナシ	文武面道ヲ学ニ	詠歌ヲ好ミ手跡ヲ嗜ミ		本ノ生得発明	本ノ行跡懇順	本ノ所行悪義ナク	本ノ家民ヲ施シ公勤ヲ専ラニシ政道宜シト也	
144	18巻	祖父 政言 祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道有得ヲリシトナシ 世ニ體シテ其良習トシテ教ヲ履メ國家ヲ導キ功成名遂ヲ後安居セラル其徳子孫ニ及ホス	文武面道ヲ学ニ	詠歌ヲ好ミ手跡ヲ嗜ミ		生得寛然	行跡正シク			孝教ヲ専ラニス
145	18巻	祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道有得ヲリシトナシ	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意発明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			
146	18巻	祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道ヲ学ニ理ニ至リ行跡ヲ嗜ミ忠勤ヲ勵メテ以テ主得ノ大要トス本文ノ如クナラハ生レナカラノ道有人也	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意発明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			
147	18巻	祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道ヲ学ニ理ニ至リ行跡ヲ嗜ミ忠勤ヲ勵メテ以テ主得ノ大要トス本文ノ如クナラハ生レナカラノ道有人也	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意発明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			
148	18巻	祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道ヲ学ニ理ニ至リ行跡ヲ嗜ミ忠勤ヲ勵メテ以テ主得ノ大要トス本文ノ如クナラハ生レナカラノ道有人也	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意発明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			
149	18巻	祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道ヲ学ニ理ニ至リ行跡ヲ嗜ミ忠勤ヲ勵メテ以テ主得ノ大要トス本文ノ如クナラハ生レナカラノ道有人也	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意発明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			
150	18巻	祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道ヲ学ニ理ニ至リ行跡ヲ嗜ミ忠勤ヲ勵メテ以テ主得ノ大要トス本文ノ如クナラハ生レナカラノ道有人也	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意発明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			
151	18巻	祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道ヲ学ニ理ニ至リ行跡ヲ嗜ミ忠勤ヲ勵メテ以テ主得ノ大要トス本文ノ如クナラハ生レナカラノ道有人也	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意発明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			
152	18巻	祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道ヲ学ニ理ニ至リ行跡ヲ嗜ミ忠勤ヲ勵メテ以テ主得ノ大要トス本文ノ如クナラハ生レナカラノ道有人也	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意発明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			
153	18巻	祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道ヲ学ニ理ニ至リ行跡ヲ嗜ミ忠勤ヲ勵メテ以テ主得ノ大要トス本文ノ如クナラハ生レナカラノ道有人也	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意発明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			
154	18巻	祖父 家貞 祖父 家貞(政)	道ヲ学ニ理ニ至リ行跡ヲ嗜ミ忠勤ヲ勵メテ以テ主得ノ大要トス本文ノ如クナラハ生レナカラノ道有人也	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意発明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			

NO	巻号	大名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
155	19巻	大井式部少輔源和忠	文武ノ学								
156	19巻	(父)土井利長	文武ノ学								
157	20巻	松平輝正忠源正久	文武ノ学								
158	20巻	(父)松平輝元	文武ノ学								
159	20巻	毛利固防守源高定	文武ノ学								
160	20巻	(父)毛利高久	文武ノ学								
161	20巻	木下肥後守豊臣国定	文武ノ学								
162	20巻	(父)木下利貞	文武ノ学								
163	20巻	宗対馬守平藏方	文武ノ学								
164	20巻	相良達江守藤原頼隆	文武ノ学								
165	20巻	松平宮内少輔源忠尚	文武ノ学								
166	20巻	織田越前守平信久	文武ノ学								
167	20巻	森和泉守源長且	文武ノ学								
168	21巻	(父)森内記	文武ノ学								
169	21巻	(父)森内記	文武ノ学								
170	21巻	島田播磨守平忠林	文武ノ学								
171	21巻	(父)島田忠則	文武ノ学								
172	21巻	小笠原正守源真信	文武ノ学								
173	21巻	松平均馬守源照重	文武ノ学								
174	22巻	(父)松平武昭	文武ノ学								
175	21巻	岡大藩藤原長原	文武ノ学								
176	21巻	(伯父)藤原長政	文武ノ学								
177	21巻	酒井下野守源忠寛	文武ノ学								
178	21巻	石川能登守源表紀	文武ノ学								
179	21巻	(父)石川口坂	文武ノ学								
180	21巻	南部右近藤通信	文武ノ学								
181	21巻	(父)南部直政	文武ノ学								
182	21巻	分部隼人正源政信	文武ノ学								
183	21巻	岩城伊代守平重隆	文武ノ学								
184	22巻	松平上野介源近栄	文武ノ学								

NO	番号	大名家	1	2	3	4	5	6	7	8	9
175	22巻	織田山城守平信恒	主得ノ法	文武	文武	文武	文武	文武	文武	文武	文武
		(父)織田政国 (相父)織田長頼	文 大道 武道二心懸子キハ 大ニ誠ルナリ 夫阿道ト ハ羽義ノ如シ一方次テハ 難叶 文道ノ法ヲク 少々文道ヲ好ミ	武 尤武勇ヲ嗜ム家業ノ当然 タルハ悪キニテラス	生得 生得寛然トシテ動候不急	行跡 行跡寛博ニシテ不善不貪家民ヲ憐ミ	所行 所行宜シトテハ難ズハ キハナシ	徳	才智		
176	22巻	松平但馬守源友親									
177	22巻	酒井石見守源忠宗									
178	22巻	(父)酒井忠朝 保科兵部少輔源正保									
179	22巻	内藤右近藤原政盛									
		(父)内藤政宣									
		(相父)内藤政晴									
180	22巻	阿部摂津守源信友									
		(父)安部信之									
181	22巻	板倉頼母源重清									
		(一郡一村ノ主トナリテ) 文道ノ学ヒナキハ不足 ナラズ									
182	22巻	佐竹土岐守源義和									
183	23巻	鍋島備前守藤原重棟									
184	23巻	九鬼万之口藤原久隆									
		(父)九鬼隆常									
185	23巻	丹羽土岐守源氏喜									
		(父)丹羽氏房									
		(相父)丹羽氏純									
186	23巻	大關陣正丹治増恒									
		(父)大關晴茂 (相父)大關晴栄									
187	23巻	石川追江守総茂									
		(父)石川総良									
188	23巻	池田河内守源清定									
		(父)源清定									
189	23巻	安部伊予守源正春									
190	23巻	松平藤口源源重									
191	23巻	本多伯耆守藤原正永									

NO	番号	大名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
192	23巻	細川玄蕃源興英	文武	文武	文	武	生得	行跡	所行		
		(父)細川興隆		文武ヲ学セ	文道ヲ不学		生得寛博ニシテ仁義ヲ守リ	行跡正シク家士民間ヲ慕フ施シ			
193	24巻	池田丹波守源政倫									
194	24巻	森村馬守源長俊									
195	24巻	土方東市正源雄高									
196	24巻	市橋下総守藤原政信									
197	24巻	酒井準人源忠純									
		(父)酒井忠国									
198	24巻	稲垣安芸守源重定									
199	24巻	桂村大守源正朝									
200	24巻	水野徳政源勝長									
201	24巻	内田主膳藤原正虎									
		(父)内田勝生									
202	25巻	松平筑後守源頼道									
203	25巻	片桐主膳正源貞房									
204	25巻	五嶋万吉源盛高									
		(父)五嶋盛高									
205	25巻	蓮山和泉守藤原友春									
		(祖父)五嶋盛勝									
206	25巻	渡辺備中守源基綱									
		(父)渡辺正綱									
207	25巻	三宅備前守源康親									
		(父)三宅康勝									
208	25巻	堀長門守藤原直矩									
209	25巻	本多肥後守藤原政貞									
210	25巻	谷大学源広頼									
		(父)谷衛藤									
211	26巻	松平口守源忠充									
212	26巻	堀田筑前守紀正國									
213	26巻	松平志摩守源重能									
214	26巻	久留崎信濃守越智通清									

NO	番号	大名名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		主稱ノ法	文武	文武	文武	文武	生得	行跡	所行	種	子智
215	26巻	太田原備前守册治信清	文武ノ學ニキキト云ハトモ	文武ノ學ニキキト云ハトモ	文武ノ學ニキキト云ハトモ	文武ノ學ニキキト云ハトモ	生得	行跡好意ノ意地ナク	所行直シトナレハ難スハキ様ナシ		
216	26巻	(祖父)太田高清	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ	(其ノ若年ナレトモ)所行不義ナク		
217	26巻	小堀文隆藤原政房	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
		(父)小堀政延	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
218	26巻	(祖父)小堀政一	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
		逢山内權正藤原正徳	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
		(父)逢山政亮	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
219	26巻	本多兵庫藤原忠次	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
		(父)本多忠利	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
220	26巻	一柳兵部少輔超智直治	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
221	27巻	本多弾正少口藤原忠清	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
222	27巻	京極主殿源高之	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
		(祖父)京極高棟	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
223	27巻	柳生備前守菅原采女	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
224	27巻	小笠原備前守藤原真芳	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
		(父)小笠原在宗	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
225	27巻	毛利内膳大江元平	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
226	27巻	高木水正源正録	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
227	27巻	織田内匠平長根	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
228	27巻	板倉伊代守源重同	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
229	27巻	屋代越中守源中致	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
230	28巻	一柳工左守源智未明	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
231	28巻	松平内膳源直知	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
232	28巻	森川紀伊守源重興	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
233	28巻	伊東民部藤原祐敏	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
234	28巻	渡辺内匠源源政信	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
235	28巻	松浦大膳源昌	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
236	28巻	通井右亮源忠登	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
237	28巻	米津小次郎源政矩	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
238	28巻	京極善内源高昌	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
239	28巻	前田善人官原利英	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
240	29巻	牧野周防守源康重	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
240	29巻	内藤式部少輔藤原正友	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
242	29巻	永井能登守大江直貴	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
243	29巻	山口修理多々良連明	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
244	29巻	青木民部藤原重安	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			
245	29巻	堀式部藤原直虎	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	文武ノ學ニキキ	生得	行跡不義ナシ			

NO	番号	大人名	1 主稱ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
246	29巻	横田口物平秀規		文武ノ道ヲ學ハサルハ不足ノ根ナリ云ヘトモ本文ニ違ハサル則ツハ難スルハナシ							
247	29巻	加藤織部藤原泰忠									
248	29巻	井上筑後守源政藏			文武ノ道ニキキ可之トセズ						
249	29巻	立花主膳藤原種明		文武両道ニ練ケルナシ							
250	29巻	北條尼東平氏友									
251	30巻	安部飛騨守源正喬		文武ノ學ニキキハ不足トス							
252	30巻	本多伊予守藤原忠恒									
253	30巻	戸田淡路守藤原氏成			文武ノ學ニキキハ物事ノ不足ナリトシ						
254	30巻	新庄王殿藤原重賢		文武ノ少々學ハル							
255	30巻	松平下野守源信治		文武ノ道ヲ學ハルル							
256	30巻	堀田矢部胤俊安									
257	30巻	本多若狭守藤原利久		文武ノ學ニ國家ヲ正シ							
258	30巻	米倉長門守源昌明									
259	30巻	大久保市十郎藤原忠盛									
260	30巻	遠藤主膳平寛親									